



どっもかしこも嗚呼！  
「ポーターナリズム」？!



# 裸のムラ

北陸の保守王国にみる、ニッポンの縮図

『はりぼて』五百旗頭幸男監督がしかける、

笑うに笑えないポリティカル・ドキュメンタリー

監督 五百旗頭幸男  
撮影 和田光弘  
編集 西田豊和  
音楽 岩本圭介  
音楽プロデューサー 矢崎裕行  
プロデューサー 米澤利彦  
製作 石川テレビ放送



[www.hadakanomura.jp](http://www.hadakanomura.jp)

配給 東風

2022年 | 日本 | 118分 | ドキュメンタリー

©石川テレビ放送



# 政治家、公務員、有権者、マスメディア。 みんなそれぞれ一生懸命。

だけど、やっぱりズレている?!



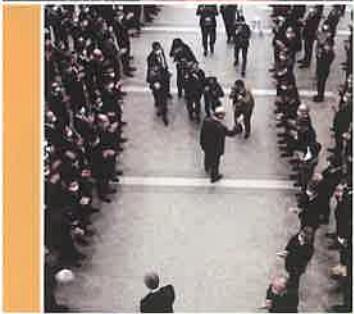
## 舞台は

北陸の保守王国、石川県。現職最長となる7期27年目の谷本正憲知事(75)

は、コロナ禍に「無症状の方は石川県にお越しいただければ」と失言、「4人以下での会食」を呼びかけながら自身は90人以上で会食。永すぎた権力集中が招いた綻びか、仕える者は忖度の度合いを強め、為政者は傍若無人になっていく。そんな長期県政もついに終焉を迎えた。8選出馬に前向きに見えた谷本の機先を制したのは、谷本の選対本部長を務めていた衆議院議員の馳浩。はせひろし 新知事が掲げたスローガンは「新時代」。そういえば22年前、衆議院に初当選した馳が掲げていたのもまた「新時代」だった。ムラの男たちが熱演する栄枯盛衰の権力移譲劇。ここの一番で必ず登場するのは、ご存知キングメーカーの森喜朗だ。もりよしろう いっぽうカメラは、市井の生活者へも向けられる。同調圧力の強い社会で暮らすムスリム一家、車で移動しながら生活や仕事をするバンライフの家族の姿から、理想や自由をめぐる葛藤と矛盾が浮かび上がる。

## 監督は

富山市議会の不正を丸裸にした映画『はりぼて』の五百旗頭幸男。富山のチューリップテレビを辞した五百旗頭が、新天地の石川テレビで制作した2本のドキュメンタリー番組「裸のムラ」と「日本国男村」から本作は生まれた。映画は、私たちが暮らす社会に偏在する家父長制の徴を笑いとともに抉り出していくのだが、被写体と厳しく向き合うなかで、しだいに高圧的になっていく取材者自身の姿も晒すことになり…。



# 怒るか、笑うか、呆れるか…それは 映画を観るあなた次第!!

[www.hadakanomura.jp](http://www.hadakanomura.jp)

[@hadakanomura](https://twitter.com/hadakanomura)

[fb.com/hadakanomura](https://facebook.com/hadakanomura)